

【ESD学習支援活動】

奈良市立西大寺北小学校 野外活動 支援報告書

国語教育専修 学部1回生 坂元亜衣

1. 実施日 平成29年10月4日（水）
2. 場所 奈良市青少年野外活動センター（奈良市阪原町25-1）
3. 参加者 英語教育専修 修士2回生 糸綾香
英語教育専修 学部4回生 谷垣徹
特別支援教育専修 学部3回生 藤井愛華
英語教育専修 学部1回生 下原舞
国語教育専修 学部1回生 坂元亜衣
奈良市立西大寺北小学校 第5学年児童、教員

4. 活動支援内容

平成29年10月4日（水）、奈良市青少年野外活動センターにおいて、奈良市立西大寺北小学校第5学年の野外活動が行われ、本学学生がその支援活動にあたった。当日は天候もよく、順調にキャンプファイヤーまで行うことができた。

今回の野外活動を通して学んだことを以下の3点で振り返る。第1に事前指導での関わり、第2に野外炊飯での関わり、そして第3にキャンプファイヤーでの関わりである。

第1に、事前指導での関わりである。今回のキャンプファイヤーにむけて事前に小学校に訪問し、2回の事前指導を行った。事前指導の内容としては、キャンプファイヤーで行う児童のスタンツや、歌についてのポイントをアドバイスすることである。この事前指導を行うことで、当日のキャンプファイヤーの中身はより良いものになったと感じる。また、事前指導で野外活動当日ではなく、事前に児童と会い、話をすることで児童との距離も近くなり、当日も不安な気持ちを持つことなく取り組むことができた。事前指導で当日にも参加する学生が来ることで、児童もいつもと違った様子でスタンツに一生懸命練習に励んでいたのも、事前指導は大切であると感じた。

第2に、野外炊飯での関わりである。野外炊飯時には一斉に児童が調理に取り掛かるため、目を配らなければならない場面が多くある。そこに学生が支援に入ることで、担任の先生方にとっても児童にとっても良い助けになると感じた。また、学生が主にキャンプファイヤーを中心としたサポートに入ることで、多くの先生方が野外炊飯に加わることができると感じた。

第3に、キャンプファイヤーでの関わりである。今回のキャンプファイヤーは児童を中心としたものであった。また、児童の数は100人を超えていて、とても人数の多いキャンプファイヤーであり、スタンツの数も多かったが、みんなが精一杯取り組んでくれたためとても楽しいものとなった。児童の練習があったからこそそのスタンツであったと感じた。一生懸命にキャンプファイヤーを楽しんでくれている児童たちの、かけがえのない思い出となる支援を心がけることの必要性を感じた。

以上が今回の支援を通して得た学びである。西大寺北小学校の野外活動に今回初めて事前指導から参加させていただき、いろいろなことを学ぶことができた。この経験を活かし、今後の活動につなげていきたい。



キャンプファイヤーでの様子